Press Release

リョーヨー

2012 年 8 月 23 日

各　位

会 社 名　菱洋エレクトロ株式会社
代 表 者　代 表 取 締 役 社 長
小　川　　賢　八　郎
（コード番号　8068　東証第一部）
問合せ先　執行役員　経営戦略室長
脇　　清
（電 話 番 号　03－3546－5088）

菱洋エレクトロ、医用画像外部保存サービスを事業化

マルチベンダー対応と業界初の定額制料金でサービス開始

菱洋エレクトロ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小川 賢八郎、以下「当社」）は、病院・医療機関向けの医用画像外部保存サービス、「医用画像外部保管センター」（以下、「当サービス」）を事業化し、このたびサービスを開始いたしました。

当サービスは、CR や CT スキャナー、MRI などによる診断画像のアーカイブ（記録保管）と、バックアップ（データ保護・退避）の 2 つのサービスを、「医療情報を受託管理する情報処理業者向けガイドライン」（第 1 版、パーソナル情報研究会、経済産業省）に準拠して、病院・医療機関に向けて提供するものです。また、当サービスは毎月の費用変動を抑えて利用できるよう、診断装置数と年間の検査数に応じて料金を設定する定額方式を業界で初めて採用いたしました。

当サービスの契約医療機関は、院内の画像診断・管理システム（PACS[1]等）のデータ記憶装置（ストレージ）投資負担、大量の画像診断データのセキュリティを含む管理・運用負担を大幅に軽減できることに加え、当サービスが備える遠隔地バックアップセンターにより、万一の大災害においても診断画像データを消失させない対策が施されています。

また、病院・医療機関の IT 資産の一部を経費化（オフバランス化）することによる IT 資産調達・保有コストの圧縮や、IT 運用による排出 CO_2 の削減などの効果が期待できます。

---

[1] Picture Archiving and Communication System の略称で、日本語では「画像保存通信システム」と呼ばれています。DICOM 送信機能を持つモダリティから画像データを受信し、データベースに保存し、読影端末等からの要求によって、特定の画像データを検索し端末へ送信することができます。

■　「医用画像外部保管センター」の特徴

－ 特定メーカーに依存しないベンダー中立のデータ交換仕様
－ 経済産業省ガイドラインに準拠した設備・技術・運用仕様
－ 災害対策用バックアップセンターを含む 2 拠点以上でのデータ保管と安全対策
－ 年間データ発生量による月額定額料金制

菱洋エレクトロは、当サービスで 2015 年までに 180 施設の受注を目指してまいります。

以　上

【菱洋エレクトロ株式会社について】
1961 年 2 月設立のエレクトロニクス商社。東京証券取引所第 1 部に上場しており、資本金は 136 億 7,200 万円。システム情報機器、半導体、ソフトウェア、電子部品などの販売、技術サポートを行っており、三菱電機、ヒューレット・パッカード、インテル、マイクロソフト、オラクル、ルネサスエレクトロニクスなど国内外の有力メーカーの製品を取り扱っています。
2012 年 1 月期の連結売上高は 851 億円、連結従業員数は 504 名で、販売ネットワークとして国内に 11 カ所の支店・営業所（サテライトオフィスを含む）と子会社 2 社、海外ではシンガポール、香港、上海など 8 カ所に拠点を展開しています。
URL　：　http://www.ryoyo.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】
菱洋エレクトロ株式会社
新規事業本部　営業第 1 部
TEL　：　03-3546-6171
E-mail　：ssm@ryoyo.co.jp